

渡嘉敷 桜

琉球大学

国際地域創造学部へ進学

興南中学校出身

JRC・インターアクトクラブ所属



*英語が得意になったキッカケ

中学のときに学年で下位まで席次が下がったことがあったが先生や親の声かけもあって、勉強を頑張ることができた。高校では受験の危機感を感じ放課後20時まで残って勉強した。友達にたくさん質問したり、苦手な英語を克服するために先生に付きっきりで指導してもらった。高1の短期留学で米国シアトルに行ったとき、英語を得意になりたいと思った。

— フロントティアコースとは? —

勉強だけでなく、まなVIVAや行事にも全力に取り組める楽しい学校。中学のときから数学の先どりが始まり、中3では数IAが終わり、高3時には全範囲終わって安心して受験勉強に取り組めたことは良かった。

6年間同じ仲間、先生もほぼ変わらないから、勉強も皆で一緒に取り組むという感じだったので、一人だけ取り残されるってことはあまりないかなと思う。

— 興南で成長できた事は? —

元々人前に立つて話をするのが苦手だった。でもJRC・インターアクトクラブの活動や台湾研修で海外の高校生と交流でコミュニケーション能力がついたと思う。高2の研修旅行では沖縄と台湾の文化について台湾の高校生へプレゼンテーションを行ったことで、人前で話すことは自信がついた。

— 興南の先生って? —

生徒のことが好きだろうなって先生が多かった。「自分は生徒のことが好きで、教師になったことが幸せ」という言葉を聞いて、自分も教師になりたいとも思わせてくれた。生徒のサポートできる先生になりたいと思った。

— 大学受験どうだった? —

日々の勉強が辛かった。文系だけど特に化学は苦手、担当の先生にたくさん質問をして定期テストで96点取れたのは自分の中では頑張ったと思う。

— これからの目標は? —

JRCの活動の中で東ティモールの方々と交流した際に恵まれない環境の中で楽しそうに生きている子どもたちをみて自分の環境を見直す機会になった。自分が教師になったとき、他の国の人たちと子どもたちが交流する機会を作りたいと感じた。大学で北欧地域に留学に行き、英語圏とは違う文化に触れて視野を広げたい。他の国の子どもたちに何かしたいと思うような人材を、自分が教師になって増やしたいと思っている。

